

■米国：インディアナ州で小売自由化に向けた議論開始

インディアナ州の下院特別委員会は 2013 年 9 月 18 日、州内電力自由化に関する公聴会を開き、利害関係者からの意見聴取を行った。自由化を求める参加者からは、石炭依存が大きい同州では、環境保護局の排出規制による将来的な電力価格高騰の懸念があり、自由化導入による影響の軽減が必要と主張した。一方、反対派からは、周囲の自由化州についての分析結果から、自由化制度に電力価格を引き下げる効果はみられないとの反対意見が述べられ、意見は真っ向から対立した格好となった。同州では 2013 年 4 月に成立した州法（S.B.0560）で州内電力自由化の検討が求められており、同委員会には、制度導入に関する影響調査結果を 2013 年 11 月 1 日までに提出することが義務付けられている。